

社会資本総合整備計画

歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造(第3回変更)

平成 2 7 年 3 月

大阪府堺市

社会資本総合整備計画

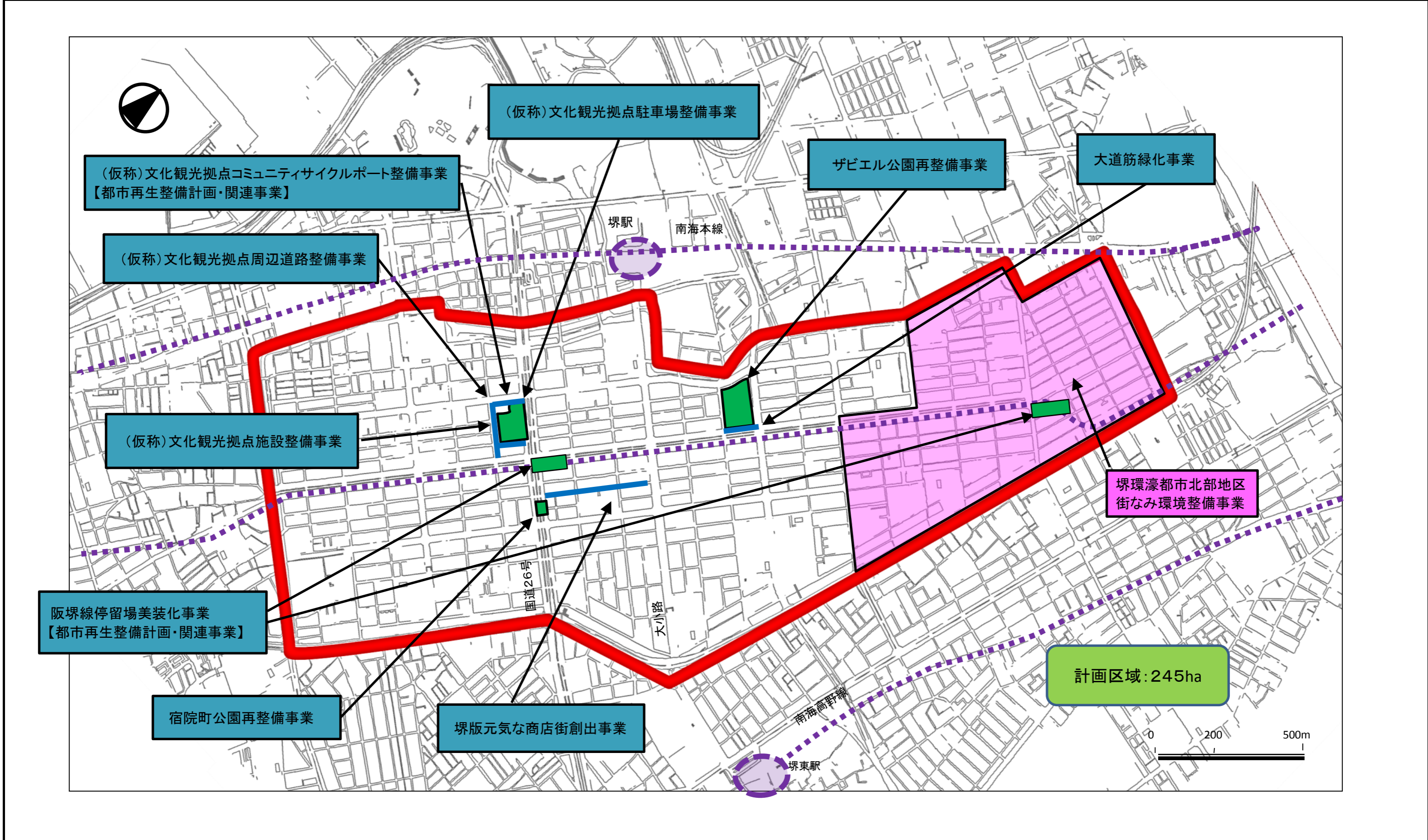
平成 27 年 3 月 30 日

計画の名称	歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造			交付対象	大阪府 堺市					
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)									
計画の目標	堺環濠都市地区の豊かな歴史・文化資源を活用したまちづくりを推進し、都市魅力を向上させるとともに、交流人口の拡大を通じて、まちの賑わい創出と都市活力の向上を図る。									
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 堺観光周遊バスツアーの件数 堺おもてなしチケットの販売枚数 町家歴史館の年間来場者数 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H23当初・H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	※当初現況値 都市再生整備計画 (H23当初) 街なみ環境整備事業 (H24当初)			
(都市再生整備計画の指標) = 1年間における堺観光周遊バス助成制度の対象件数				312件	350件	400件				
(都市再生整備計画の指標) = 1年間における堺おもてなしチケットの販売枚数				5,211枚	5,380枚	5,500枚				
(街なみ環境整備事業の指標) = (町家歴史館年間来場者数) / (堺市マスタープラン目標年間来場者数: 20,000人)				105%	—	110%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,657百万円	A	2,657百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

その他関連する事業													
計画等の名称	〇〇												
事業種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考	
1-A'-1							H22	H23	H24	H25	H26		
1-A'-2													
1-A'-5													
1-A'-6													
1-B'-1													
1-C'-2													
1-C'-3													
事業種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考	
A'							H22	H23	H24	H25	H26		
C'													

A'	百万円	B'	百万円	C'	百万円	(C+C') / ((A+A')+(B+B')+(C+C'))	0.0%
----	-----	----	-----	----	-----	---------------------------------	------

計画の名称	歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)	交付対象	大阪府 堺市



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造 事業主体名: 堺市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>